

2024年10月1日

各位

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社

2024年 9月度 売上速報

■ 百貨店事業

阪急阪神百貨店	売上高前年比(%)
阪急本店	113.1
阪神梅田本店	81.3
支店計	105.3
全店計	105.8

※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、月次の売上速報および営業概況につきましては、当該基準等適用前の取扱高で開示しております。

○ 全店の概況

- 9月に入っても大阪では真夏日や猛暑日が第3週目まで続いたことで、秋物ファッションの動きが鈍かったが、2回目の3連休以降にようやく本格稼働の基調となった。結果、阪神梅田本店以外の都心店各店の売上高は前年実績を超え、中でも阪急本店と博多阪急は2ケタの伸びを示した。
- 阪神梅田本店は前年の阪神タイガースのリーグ優勝セールの影響もあり実績を下回った。
- 免税売上高は前年に対して約3割増、阪急本店も約3割増と引き続き好調で、同月の売上高では16ヶ月連続で過去最高を更新。

○ 阪急本店の概況

- 9ヶ月連続で、同月の売上高において過去最高を更新。
- 長引く暑さの影響で、月の中旬まで婦人ファッション全般が苦戦傾向だったが、後半にかけての回復もあり売上高は前年に対して約1割増と堅調な結果。特に、化粧品やバッグの売上高は前年の2割を上回り好調。気温の寒暖差に対応できる薄手のセーター、カーディガンやバッグなどの雑貨が先行して動き、下旬になってジャケットやコートがようやく売上を伸ばした。

※過去1年間の売上高推移

前年比(%)

	2023年度							2024年度						
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
阪急本店	126.1	116.7	116.1	115.1	120.2	132.0	130.0	129.6	146.1	137.7	120.3	115.5	113.1	
阪神梅田本店	158.3	104.4	150.0	111.9	117.6	119.1	107.0	105.8	108.8	109.2	105.3	109.5	81.3	
支店計	116.3	110.8	112.0	108.5	110.0	115.5	111.4	110.4	112.0	116.7	107.5	105.3	105.3	
全店計	126.3	113.2	118.0	112.3	116.0	124.5	119.9	119.9	129.1	127.1	114.1	111.1	105.8	

■ 食品事業

イズミヤ・阪急オアシス	売上高前年比(%)
全店計	95.8

関西スーパーマーケット	売上高前年比(%)
全店計	100.9

★数値は速報値のため、確報値とは誤差が生じる場合があります。

<本件に関するお問い合わせ先>
エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 メディアリレーション部 TEL:06-6367-3181